

高島屋グループ経営理念

「いつも、人から。」

タカシマヤグループは、
「人を信じ、人を愛し、人につくす」ことを大切にし、社会に貢献します。

高島屋グループ(以下、当社グループ)は、
1991年から、経営理念に「いつも、人から。」を掲げており、
企業の意思決定や活動にあたっての基本的価値観、すなわち判断基準としています。
また経営理念の実現に向けた5つの指針を示すとともに、
企業メッセージを通じて当社のあるべき姿を社内外に発信しています。

5つの指針

- ころに残るおもてなし
- 未来を切り拓く新たな生活・文化の創造
- いきいきとした地域社会づくりへの貢献
- 地球環境を守るためのたゆまぬ努力
- 社会から信頼される行動

創業の精神

「^{てん}店^ぜ是」

- 確実なる品を廉価(れんか)にて販売し、自他の利益を図るべし
- 正札掛値(しょうふだかけね)なし
- 商品の良否は、明らかにこれを顧客に告げ、一点の虚偽あるべからず
- 顧客の待遇を平等にし、いやしくも貧富貴賤(ひんぷきせん)に依りて
差等を附すべからず

企業メッセージ

‘変わらない’のに、あたらしい。

伝統があるから、新しくなれる。
時代に息づく心地よい価値をこれからも。

守り継ぎたいことはそのままに。時代が求める変化には柔軟に。
心のこもったサービスなど「変えてはならないもの」と、
お客様に喜んでいただくために「変えるべきもの」を明確にし、
全員が心をひとつにして、進化してゆく高島屋です。

目次

はじめに

At a glance ～データで見る高島屋～	P05
At a glance ～グループを支える幅広い事業～	P07

トップメッセージ

高島屋グループで国内外の「まちづくり」、その先へ。	P11
---------------------------	-----

価値創造ストーリー

高島屋グループの価値創造プロセス	P15
活用・増強する資本	P17
価値創造の歴史 ～革新のDNA～	P19
培ってきた魅力	P23
高島屋グループの強み	P25
グループ総合戦略 ～まちづくり～	P27
人的資本経営の推進	P29
高島屋グループのESG経営	P31

成長戦略

高島屋グループ グランドデザイン ～2031年にめざす姿～	P37
中期経営計画(2024～2026年度)	P41
中期経営計画におけるまちづくり	P43
中期経営計画における財務政策	P45

環境／社会／ガバナンス

E 環境課題への取り組み	P47
-脱炭素化推進 RE100／脱炭素化推進 EV100	P48
-循環型ビジネス／廃棄プラスチック削減／ 食品ロス削減	P49
-TCFD提言に沿った情報開示	P51
S 社会課題への取り組み	P55
-ダイバーシティ推進	P56
-働き方改革の推進	P57
-施設・サービスのユニバーサル化／ 地域社会との共生／社会貢献活動の推進	P59
-人権を尊重する経営の実践	P61

G コーポレートガバナンス	P63
-コーポレートガバナンス体制	P64
-役員一覧	P67
-コンプライアンス／ コンプライアンス経営の推進	P69
-内部通報・相談制度／ 高島屋グループ 腐敗防止方針	P70
-リスクマネジメント／リスクマネジメント基本方針	P71

コーポレートデータ

主要財務データ	
-財務諸表	P73
-財務サマリー(10年データ)	P75
主要非財務データ	
-環境に関するデータ	P77
-社会に関するデータ	P79
-ガバナンスに関するデータ	P81
会社概要	P83



編集方針

本統合報告書は、当社グループが創業から今日に至るまで、何を大切に、どのような歴史を積み重ねてきたのか、また培った強みをどのように生かして将来の永続的な成長に結び付けていくのかについての理解を深めていただくことを目的とし、本年初めて制作・発行しました。

創業からの店是に基づいたお客様第一主義、経営理念「いつも、人から。」に根差した人的資本経営、グループ総合戦略「まちづくり」の原動力である「3つの強み」など、当社グループ独自の特性をより深くご理解いただくことを企図し、編集しています。

統合報告書の発行を機に、ステークホルダーの皆様との対話をさらに活性化させていきます。

報告対象

株式会社 高島屋およびグループ会社

報告期間

2023年度(2023年3月1日～2024年2月29日)
※特段の注記なき場合は、2024年2月期、もしくは
2024年2月末時点の数値を記載しています。
※発行時点の最新情報も可能な限り掲載しています。

参考にしたガイドライン

- ・国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」



発行

株式会社 高島屋

将来の見通しに関する注意事項

本統合報告書における業績に関する計画や将来の予測は、発表日時点で入手可能な情報に基づき記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。従って、さまざまな要因により、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があります。

情報開示媒体

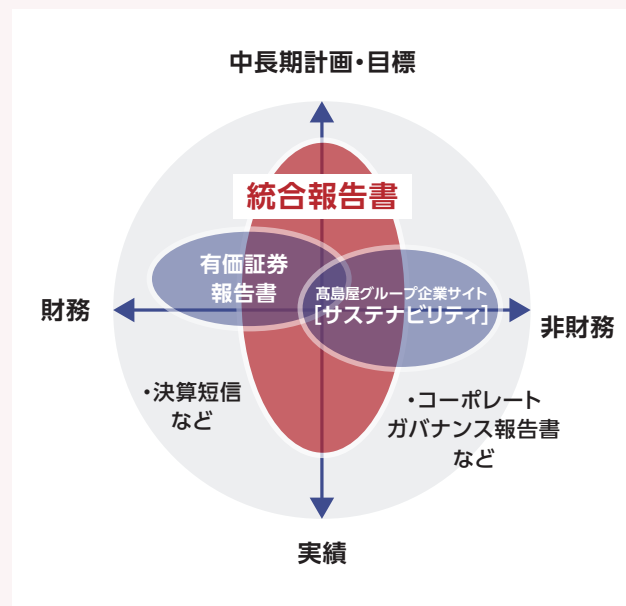
本統合報告書に掲載しきれない詳細の情報は以下よりご覧ください。

●高島屋グループ企業サイト
<https://www.takashimaya.co.jp/index.html>

問い合わせ先

株式会社 高島屋 広報・IR室
<https://www.takashimaya.co.jp/contact/pr/>

統合報告書の位置づけ



At a glance ～データで見る高島屋～

当社グループは、コア事業である百貨店業を中心に、商業開発業、金融業、建装業など連結子会社27社によりグループ総合戦略「まちづくり」を推し進め、安定的に成長し続けることをめざしています。また、グループ経営理念「いつも、人から。」を基本的価値観とし、人的資本経営、ESG経営を通し豊かな社会の実現に貢献していきます。

創業

1831年
(天保2年)

1月10日、高島屋創業。
初代飯田新七が京都烏丸松原で
古着木綿商を始めました。



創業者:初代 飯田新七

2023年度業績

●連結総額営業収益
9,522億円

●連結営業利益
459億円

従業員数

●連結
10,768名

●単体
6,845名

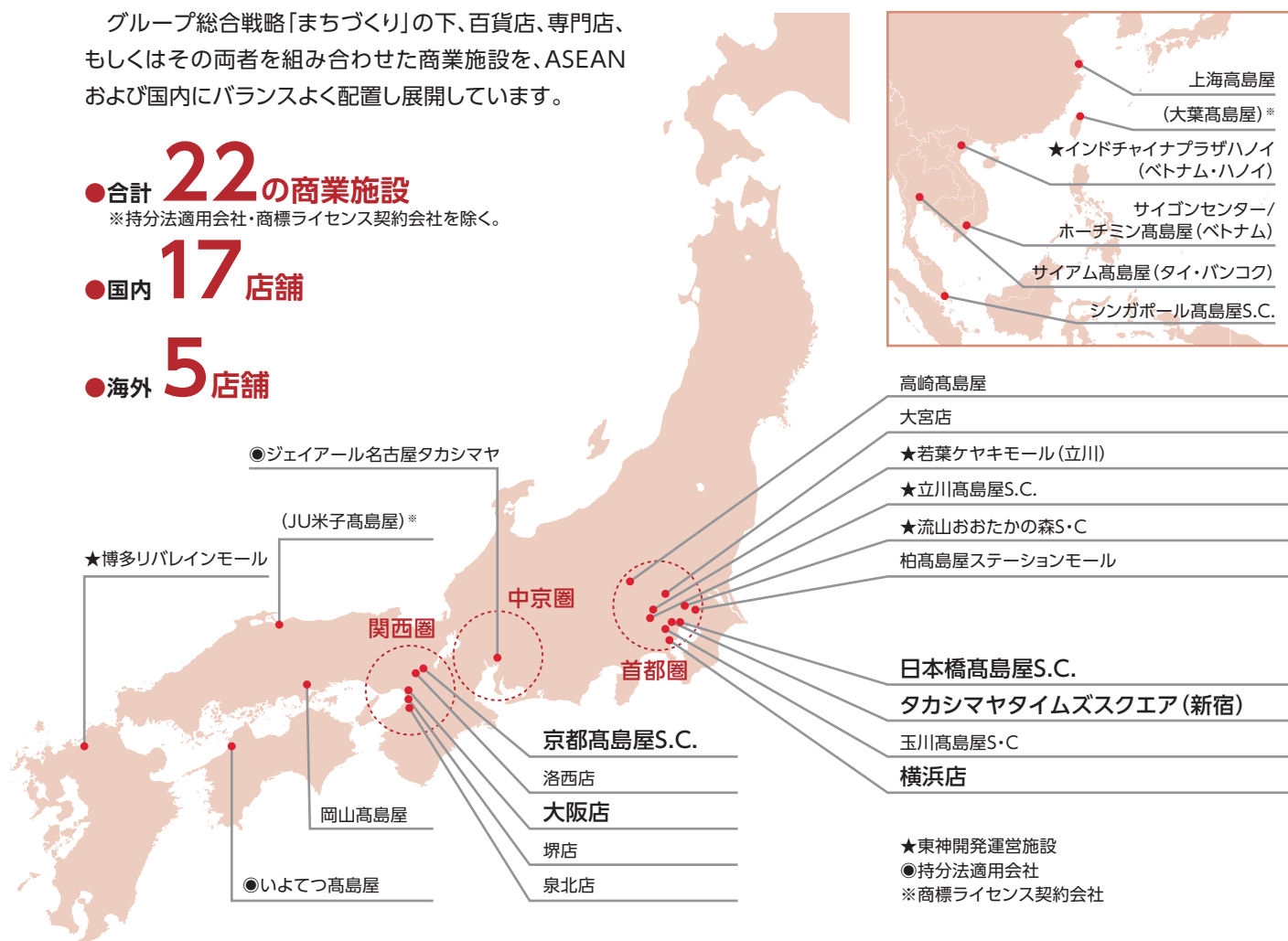
店舗網 (2024年8月末時点)

グループ総合戦略「まちづくり」の下、百貨店、専門店、
もしくはその両者を組み合わせた商業施設を、ASEAN
および国内にバランスよく配置し展開しています。

●合計 **22** の商業施設
※持分法適用会社・商標ライセンス契約会社を除く。

●国内 **17** 店舗

●海外 **5** 店舗



高島屋のカード会員数

約 **240** 万人



営業施策のベースとなる顧客政策の実効性を高めていくため、
カード会員様には、ポイント施策や特別なおもてなしを提供
し、高島屋ファンのお客様との絆づくりに取り組んでいます。

幅広いお客様との接点の拡大



スゴ積み
高島屋のスゴイ積立

毎月一定額を12カ月積み立てて高島屋でお得にお買物
いただける「タカシマヤ友の会(ローズサークル)」とアプリ版
の「スゴ積み」。幅広いお客様層の獲得につながっています。

業務提携によるお客様接点の最大化



当社と親和性の高い企業との協業により、お客様との接点
を拡大。幅広い高島屋ファンづくりを進めています。

人材・働き方に関するデータ

当社グループでは、1万人を超える人材が働いています。男女を問わず、多様な価値観や生活背景をもつ一人ひとりが働き
やすく、活躍できる環境整備を進めています。

※注記がない指標については国内グループ(国内連結会社およびタカシマヤトランスコスモスにジャパンを含む)の数値

従業員平均年齢

47.8 歳

平均勤続年数

22.3 年
男性: **21.2** 年
女性: **23.2** 年

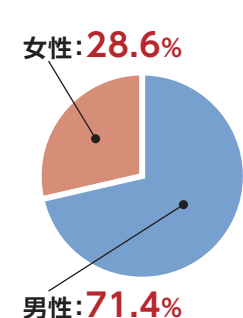
有給休暇取得率

75.9 %
1人当たり: **15.1** 日

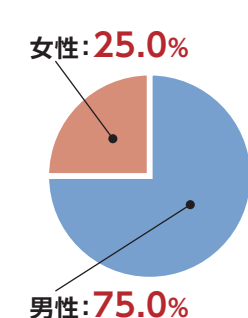
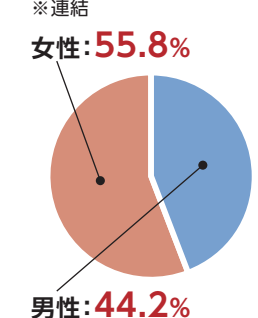
社員離職率

3.0 %

管理職男女比率



取締役男女比率

従業員男女比率
※連結短時間勤務制度利用者
(育児・介護など)

503 名

男性育児休業取得率

125 %

※当該年度中に育児休業を開始した者/
当該年度中に配偶者が出産した者

表彰・認定



健康経営優良法人2024
(大規模法人部門)
(2024年3月)



女性が輝く先進企業
内閣総理大臣賞
(2017年12月)



厚生労働大臣認定
えるぼし
(2016年6月)



プラチナくるみん
(2015年11月)



ダイバーシティ企業
100選
(2014年)



PRIDE指標2024
(2024年11月)

At a glance ～グループを支える幅広い事業～

国内百貨店事業

- ㈱高島屋
- ㈱岡山高島屋
- ㈱高崎高島屋
- ㈱ジェイアール東海高島屋 ※持分法適用会社
- ㈱伊予鉄高島屋 ※持分法適用会社

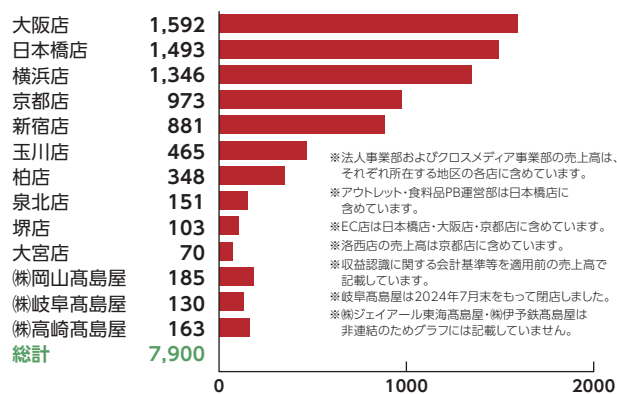
1831年の創業以来、さまざまな社会環境変化を捉えながら成長を果たしてきた当社グループにとって、国内百貨店事業はお客様との重要な接点であり、「新しいモノ・コトを通じたライフスタイル提案」や「非日常体験の提供」によって、長らくグループのブランド価値の源となってきたコア事業です。

今後のグループ総合戦略「まちづくり」においても、当社グループが手掛けるショッピングセンター（以下、SC）、あるいは、街自体の核を担う存在として、ワンストップサービスやおもてなし、文化性などの魅力をさらに磨きあげ、広くお客様の期待に応えるとともに、「生活・人生に寄り添う身近な存在」であり続けます。



高島屋 大阪店

●国内店舗別売上高（単位：億円）



海外百貨店事業

- タカシマヤ シンガポール LTD.
- 上海高島屋百貨有限公司
- タカシマヤ ベトナム LTD.
- サイラム タカシマヤ(タイランド) CO.,LTD.

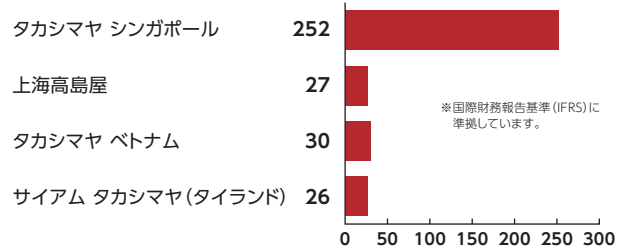
1993年のシンガポール高島屋S.C.開業以来、当社グループは国内だけでなく成長著しいアジアをターゲットとした百貨店事業の展開を進めています。現在は上海（中国）、ホーチミン（ベトナム）、バンコク（タイ）にも出店しており、「日本のおもてなし」など百貨店らしさを取り入れながらも、各国特有の文化やニーズに合わせた店舗づくり・品揃えを行っています。

ベトナムでは、2店舗目となるハノイへの出店も計画中です。運営の主体を担うローカルスタッフの人材育成を進めつつ、地域に根差した営業活動を通じてまちづくりの一翼を担います。



サイゴンセンター/ホーチミン高島屋(ベトナム)

●海外店舗別営業収益（単位：億円）



国内商業開発事業

■ 東神開発(株)

1969年、まだ田園風景が広がる二子玉川の地に、本格的な郊外型SCである玉川高島屋S・Cを開業して以来、東神開発を主体として百貨店核のSCや二子玉川・流山などでのまちづくりを推進してきました。近年では、“アート&カルチャーの発信”や“であい”をテーマとした専門店ゾーン「T8」を新たに加えた京都高島屋S.C.を開業（2023年）しました。

また、SC＝社会インフラとしての機能を追求し、各施設の場所性を生かしたサステナビリティを強化するなど、持続的に成長し得る「次世代型SCへの転換」を進めています。施設づくりにとどまらず、SCにいらっしゃるお客様の「心の中に残る場」の提供を通じて、誰もが「ここで生きたい、ここに行きたいと思える場所がある未来」の実現をめざします。

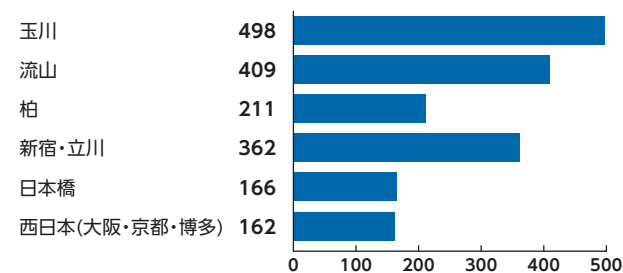


玉川高島屋S・C



流山おおたかの森S・C

●国内拠点別専門店売上高（単位：億円）

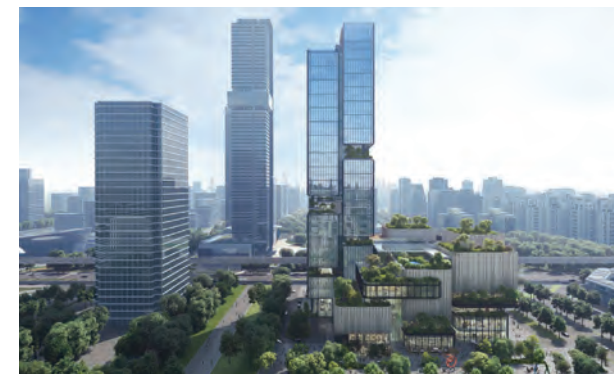


海外商業開発事業

- 〈シンガポール〉
- トーシンディベロップメント シンガポール PTE.LTD.
- 〈ベトナム〉
- トーシンディベロップメント ベトナム LTD.
- ほか 現地事業会社

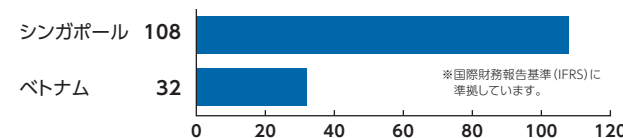
シンガポール高島屋S.C.で培った開発ノウハウや、ホーチミン中心部の大型複合施設サイゴンセンターで確立したASEANにおけるグループプレゼンスを礎に、東神開発を中心として海外事業を推進しています。現在は高成長を見込むベトナムに経営資源を集中投下しており、ハノイの大規模タウンシップ開発「スターレイクプロジェクト」に参画し、消費・体験・情報交流など、エリアのプラットフォーム機能を担う複合施設を開発中です。

また、地場有力企業や日系大手企業とのアライアンスを通じ、教育施設やオフィス・住宅など、商業施設にとどまらない事業開発も行うことで、よりスケールの大きなまちづくりに取り組んでいます。



スターレイクB計画(ハノイ、2027年以降)

●海外拠点別営業収益（単位：億円）



金融事業

■ 高島屋フィナンシャル・パートナーズ(株)
■ ヴァスト・キュルチュール(株)

当社グループでは金融事業を百貨店事業・商業開発事業に続く「グループ第3の柱」として位置づけ、高島屋フィナンシャル・パートナーズを中核とした、百貨の品揃えの一つとしての金融サービス拡充を進めています。具体的には、当社グループのまちの魅力を生かしたクレジットカード事業、資産形成・万一の備えなど暮らしのご相談に対するソリューション提案を行うライフパートナー事業、タカシマヤカード《ビジネスプラチナ》を軸に法人オーナー経営者へのサービス提供を行うB to B事業などを展開しています。

さらに高島屋として、ヘルスケア施設を中心とした不動産投資事業を行う株式会社Fantaとの資本・業務提携を2024年3月に締結したほか、同年6月には独立系フィナンシャルアドバイザー (IFA) のヴァスト・キュルチュール株式会社を新たにグループに迎えました。

今後も積極的に事業・サービス領域を拡大することにより、お客様のライフタイムバリュー最大化を図っていきます。

建装事業

■ 高島屋スペースクリエイツ(株)

建装事業のルーツは、インテリア事業を開始した1878年まで遡ります。長年培ってきた空間創造の専門性やものづくり力を生かし、現在は当社百貨店やラグジュアリーブランドを含む商業施設、ハイクラスホテル、個人住宅などにおける内装デザイン・施工管理を幅広く手掛けています。

空間デザインを通じてお客様の夢や想いをカタチにし、上質空間における新たな価値を創造します。さらにその空間で過ごす人々に、心豊かな気持ちや“幸せ”そのものをもたらすことをめざしています。

「いい空間と、いい時間で、幸せな人間を増やす。」という高島屋スペースクリエイツの「こころざし」の下、多様なソフト力とハード力を掛け合わせ、業界随一のトータルソリューションを提供し、社会的意義を果たします。



タカシマヤ フィナンシャル カウンター 日本橋店
(日本橋高島屋S.C.本館8階)



109シネマズプレミアム新宿 (2022年12月)



ザ・リッツ・カールトン日光 (2021年7月)

食品・レストラン事業

■ (株)アール・ティ・コーポレーション

「鼎泰豊」「LINA STORES」「糖朝」など個性溢れるレストランを運営するほか、「フォション」のカフェ事業(フォション ル・カフェ)や惣菜事業(フォション ガストロノミ)を運営しています。その他、当社グループ施設の社員食堂や、外部施設の食堂の運営も受託しています。



鼎泰豊(ディンタイフォン)

LINA STORES (リナストアズ)

その他事業

■ 人材派遣業
■ (株)センチュリーアンドカンパニー

当社グループの強みを生かした、ハイクオリティな人材サービスを提供する人材派遣会社。

■ 広告事業
■ (株)エー・ティ・エー

デジタル・グラフィック広告企画制作、スペースデザイン、セールスプロモーションを手掛ける総合広告会社。

■ 友の会事業
■ (株)高島屋友の会

業界最大級の会員組織を保有し、お買物積立サービス「友の会お買物カード(ローズサークル)」や「スゴ積み」を展開。

■ 酒類卸売事業
■ (株)グッドリブ

「ルロワ」「ティエノー」など高級ワインの直輸入や国内外の酒の卸売、店舗運営。



ルロワ



ティエノー

■ 通販事業
■ (株)セレクトスクエア

大人のための高感度ファッション通販サイト「タカシマヤファッションスクエア」を運営。

■ 卸売・小売事業
■ タカシマヤ トランスコスモス
インターナショナルコマース PTE. LTD.

シンガポールを拠点に日本の良質な商品を海外に向け提案・供給する、卸売・小売販売会社。

■ タカシマヤトランスコスモスICジャパン(株)

ショールーミング店舗「Meetz STORE (ミーツ・ストア)」の運営と、アジア向け越境EC卸事業を展開。

■ ファシリティマネジメント事業
■ (株)高島屋ファシリティーズ

当社グループが運営する商業施設や不動産資産の設備管理と保全業務。

■ 貿易事業
■ タカシマヤ フランスS.A.

フランスの食料品やワインなどを当社グループへ輸出するトレーディングカンパニー。

● 金融・建装・その他 営業収益(単位:億円)

